

[様式2] 令和6年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析  
 東京都北区立滝野川第四小学校

| 国 語   |   |   |
|---|---|---|
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| ほとんどの項目で目標値と同程度の結果となった。一方で「見たことをもとに発表する。」「文章を書く。」という項目においては、10以上下回っている。最終問題の無回答の割合が25%ほどいる。 | 目標値と比較すると「知識・技能」「思考・判断・表現」において上回っている。区平均正答率と比較すると「知識・理解」は上回っているが、「思考・判断・表現」は下回っている。特に「主体的に取り組む態度」においては、目標値から11ポイント、区平均正答率から6ポイント下回っている。 | 前学年までの漢字の読み書きや言葉の理解は、平均程度の力が付いている。知識はあってもそれを思考に生かしていない傾向がある。特に、問題を理解し文章に表す力に課題が見られる。最後の問題までたどり着けないことによる無回答の割合が多いことで、主体性のポイントが低くなっていると考えられる。 |
| 算 数   |   |   |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| すべての項目において、目標値は上回っているが、区平均正答率と比較すると、「測定」区分において2ポイント下回る。文章問題を作ることににおいては、無回答が20%となっている。       | 「思考・判断・表現」が1ポイント目標値を下回っている。他の2項目については目標値を大きく上回っている。区平均正答率と比較すると、全ての項目において下回っている。特に、「思考・判断・表現」において、9ポイント下回っている。                          | 前学年で習得すべき内容は、おおよそ身に付いている児童が多い。しかし、区平均正答率と比較すると、下回る結果となっている。特に、グラフの読み取りや、大きい数の理解に課題が見られる。時間が足りなかったり、問題文が理解できなかったりして、無回答となっている箇所も多く考えられる。     |

[様式2] 令和6年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語  |  |   |
|--|--|---|
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| 多くの項目で目標値と同程度の結果となっているが、説明文や物語文の読み取りでは目標値を大きく下回った。文章を書く項目では、約20%の児童が無回答となっている。                         | 漢字の読み書きなどの「知識・理解」は、ほとんどの観点で目標値に達している。「思考・判断・表現」の文章を書く問題では、無回答が20%いるが全体では目標値に近い数値となっている。文章を読み取る問題では10~20ポイント下回っている。 | 前学年までの漢字の読み書きや言葉の理解は、平均程度の力が付いている。時間が足りず、最後の問題までたどり着けないことによる無回答となっている箇所も多く考えられる。また、読み取る問題では無回答が20%いるが全体では目標値に近い数値であることから、児童間で習熟度の差が大きくあると考えられる。 |
| 算 数  |  |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| ほぼ全ての項目で目標値を下回っており、既習事項が十分に定着していないことが分かる。特に「直角三角形の特徴を答える」「方眼に正方形を描く」「ものさしのめもりを読み取る」問題では15ポイント近く下回っていた。 | 唯一目標値から+5ポイント以上の結果が出ている「直方体の面の形・数」についての問題は「思考・判断・表現」であった。左記の3つは「知識・理解」であり、ほぼ全ての項目で目標値を下回っているため、観点による大きな差は見られなかった。  | 前年度までの既習事項が、観点に関わらず十分に定着していない。特に「B図形」と「C測定」の領域の定着が不十分であることが顕著に表れている。「三角形・四角形」も「長さ・かさ」も3年生以降の学習で発展していく内容のため、定着を図る手だてが必要である。                      |

[様式2]

令和6年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語  |   |   |
|--|---|---|
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| 基礎・活用共に区平均に比べ正答率が低く、それぞれ11.9ポイント、9.3ポイント下回っている。領域別正答率では、「書くこと」のポイントが区平均と比べて12ポイント以上低い。区平均との差が小さかったのは「我が国の言語文化に関する事項」であり、目標値は達成されている。 | どの観点も区平均・全国平均を下回っている。区平均と比較したときに「思考判断表現」の項目は13ポイント以上、「知識技能」の項目は区平均と比較して10ポイント以上低い。また、昨年度の4年生と比較してもすべての項目でポイントが低い。 | 区平均・前年度と比較しても伸び悩んだ結果となっている。特に「書くこと」のポイントは低く、国語だけでなく総合や理科などの他教科でも自分の考えを書く機会を多く設定し、書く力の向上に努めることが重要である。        |
| 算 数  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| 「かけ算」の内容では目標値より6ポイント上回った。しかし、かけ算がベースとなる「わり算」の内容では目標値より3.2ポイント下回った。教科の正答率としては、基礎・活用共に全国平均とほぼ同程度の正答率だが、区平均よりは下回っている項目が多い。              | 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」共に目標値、全国平均とほぼ同程度の正答率だが、区平均よりは全ての観点で下回っており、特に「思考・判断・表現」においては-8.5ポイントと大幅に下回っている。    | 基礎は概ね定着しているが、活用する力が定着していない傾向が見られる。また、「思考・判断・表現」において正答率が6割となっており、知識を関連付けたり掘り下げて深く考えたりする力を身に付けさせていく必要があると考える。 |
| 理 科  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| 全国平均正答率と区平均正答率は上回るものの、昨年度の同学年とは7ポイントの開きで低くなっている。領域別正答率では、「物質エネルギー」より「生命・地球」のほうが12ポイント上回り、趣向の影響が伺える。                                  | どの観点も目標値を下回っていて、「知識・技能」が一番高いが59.6ポイントである。他の「思考判断表現」と「主体的に学習に取り組む態度」は50ポイントを下回っていて、昨年度との大きな開きが見られる。                | 「生命・地球」の領域の知識はあるが「物質・エネルギー」の領域の興味関心が低いことから、意図的に導入や予想に工夫凝らし、実験やデータから考えられることの楽しさを体験させていく事が重要である。              |

[様式2]

令和6年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語  |   |   |
|--|---|---|
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| すべての領域別正答率は、目標値及び区平均を上回っている。「言語文化に関する事項」では目標値は上回っているが、区平均からは0.8ポイント下回った。「情報の扱い方に関する事項」において、説明文の内容の読み取りでは区平均程度であり目標値からは4ポイント上回っているが、到達度は6割となっている。 | すべての観点において、目標値を上回ることができた。「知識・技能」も、到達度は7割を示している。「思考・判断・表現」では、基礎問題「情報と情報との関係の理解と話の中心が明確になるよう話を構成する。」の正答率5割を切っている。 | 内容別・領域別に見て、「情報の取り扱い方」に課題がある。話すことにおいては、文章の構成について理解を深めさせていく必要がある。解答形式においては記述式においての無答や5割以下が減少してきている。日々の学習で自身の読み取りを記述や発表で表現する活動をくり返し取り組み、定着を図っていききたい。 |
| 社 会  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| 「都道府県の様子」「特色ある地域の様子」の内容は目標値に達しているが、「くらしをささえる水」「ゴミの処理と利用」については、目標値、区・全国平均正答率を下回る項目も見られる。また、選択問題の自然災害からくらしを守る(水害)と先人の働きについては大きく下回った。               | 全ての観点で目標値と全国平均正答率を上回った。しかし、「思考・判断・表現」「主体的に学習取り組む態度」は目標値、区平均を上回っているにもかかわらず、「知識・技能」において下回る結果となった。                 | 内容別・観点別に見て、既習の東京都の学習内容と問題内容の資料を関係付け、必要な情報を捉えていく部分に課題が見られる。領域によって定着度に差が激しい所については、今後の学習場面でも取り上げていく必要がある。  |
| 算 数  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| 「簡単な場合についての割合」「折れ線グラフ」の内容が正答率七割を下回った。他の内容は目標値、全国平均を上回っている。「小数」については正答率81%あるが、計算が関係してくる計算のきまりや面積になると70%と正答率が下がる。                                  | 全ての観点で目標値と全国平均、区平均の正答率を上回った。また、領域別では、「データの活用」について、目標値ではあるが区の平均正答率を下回る結果となった。                                    | 算数の学習に意欲をもって主体的に取り組む様子が、目標値を超える結果につながっていると考える。しかし問題の内容によって正答率が大きく差が出るものもあり、既習事項の定着が不十分な部分もあることが分かる。変化と関係については問題の読み取りと共に、見方についての復習が必要である。          |
| 理 科  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| ほとんどの項目で目標値、区平均を上回る結果となった。しかし、目標値に達していないものもある。特に雨水のゆくへや水のすがたでは、平均程度にとどまっている。基礎的な内容は7割に達しているが、活用に関しては4割と低い。                                       | 全ての観点で、目標値・区平均・全国平均とほぼ同様の結果となった。どの観点も7割に到達しておらず、領域別でもどちらも6割の正答率となっている。体験的な学習内容が多いところで一般化が十分できていないと考えられる。        | 学習内容によって、目標値を上回っているものと、5ポイント以上下回っているものがある。観点の結果を見ると分かるとおり、学習内容に主体的に取り組んでいけるように、知識・技能を身に付けると共に、活用する力を伸ばしていく必要がある。                                  |

[様式2]

令和6年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語  |  |  |
|--|--|--|
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| ほとんどの内容で目標値を超え、特に、「説明文の内容を読み取る」の内容が7.4ポイント上回った。しかし、「文章を書く」の内容が、目標値から-8.4ポイントと大きく下回る結果となった。                                       | 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点で目標値と全国平均正答率を上回ったが、「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、目標値、全国平均正答率共に下回る結果となった。 | 読み取りや漢字については、目標値を超えているが、言語文化に関する事項や書くこと、文章を書くことなど、各分野において目標値を下回っている。主体的に学習に取り組む態度の目標値も低いこと、全体的に「書くこと」について正答率が低いことから、要点を踏まえて自分の考えを書く経験が足りていないことがわかった。 |
| 社 会  |  |  |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| 半分の内容で目標値を超え、特に、「日本の水産業」の内容が、13.1ポイント上回った。一方で、「日本の農業」、「情報を生かした産業」の内容で目標値を下回り、「世界の中の国土」、「自動車をつくる工業」の内容で目標値から約-6ポイントと大きく下回る結果となった。 | 「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点で目標値と全国平均正答率を上回ったが、「知識・技能」の観点では、目標値を下回る結果となった。          | ほとんどの内容で目標値を下回っていたこと、観点別でも知識・技能が目標値を下回っていたことから、基本的な知識が身に付いていないことが分かった。基礎的な問題に繰り返し取り組ませる必要がある。  |
| 算 数  |  |  |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| 全ての内容で目標値を超え、特に、「面積」の内容では11.7ポイント上回った。しかし、「割合」の内容では目標値に+0.6ポイントであった。   | 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点で目標値と全国平均正答率を上回ったが、「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、目標値を下回る結果となった。          | 全ての内容で目標値を超えていたため、基本的な知識が付いていると考えられる。「割合」や「円グラフや帯グラフ・平均」の内容では、目標値とほぼ変わらないこと、「主体的に学習に取り組む態度」の観点で目標値を下回ったことから、特定の内容の練習問題に取り組み、既習事項の定着を図る必要がある。         |
| 理 科  |  |  |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| 「魚のたんじょう」の内容のみ目標値を超えたが、それ以外の内容で、目標値と全国平均正答率共に下回る結果となった。特に、「人のたんじょう」の内容では目標値から-14ポイントと大きく下回る結果となった。                               | 「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の全ての観点で、目標値、全国平均正答率共に下回る結果となった。                    | 定着度に内容差が激しく、特に「人のたんじょう」では大きく下回っている。どの観点でも目標値を下回っていることから、既習事項の定着が不十分であった。基礎的な問題に繰り返し取り組ませる必要がある。  |
| 外 国 語  |  |  |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| 全ての内容で目標値を超え、特に、「アルファベットの読み(聞く)」の内容では15ポイント上回った。しかし、「英作文」の内容では目標値に+4.6ポイントであった。  | 「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の全ての観点で、目標値、全国平均正答率共に上回る結果となった。                    | 内容、観点全てにおいて目標値を上回っていたため、引き続き、既習事項の定着と活用を促す。  |